

**ホームページ見て
修理依頼！！
外国製油圧装置より油漏れ
今にも壊れそう・・・。**

兵庫県北部の某メーカーより連絡をいただき、イギリス製の油圧機械より油漏れあり、電話では詳細がつかめなく資料もほとんど無いとの事、あっても英語の資料との事。現場へ出向かないと事が進まない状況でした。現場にて調査を行い、原因はアルミのブロックにヒビが入り油が噴出していました。ブロックの寸法取りを行い新規製作取付の話となり、なんとか盆休み中に修理完了する事が出来、お客様にも大変喜んでいただきました。正常に稼働している時は、問題ないですが外国製の機械は故障しますと機器の入手困難の可能性があります。特殊な機器、入手困難な機器等はリストアップし対策をとられておく事をお勧めいたします。

▼ 特定自主検査参考費用 ▼

機械プレス (フリクションクラッチ)

45ton~150ton ¥18.500~¥35.500

液圧プレス

10ton~300ton ¥12.500~¥42.500

(往復日当、交通費、経費は別途)

初回検査は特典付！！(フルハップ登録検査業者)

**たかがOリング！
されどOリング！！**

油圧機械の欠点は、油漏れによる機械故障が避けられない点です。

ある外資系の油圧メーカーの話ですが、Oリングの変わりに断面が角のリングを使用しています。これより油漏れが有りパッキンを依頼したら3ヶ月~4ヶ月かかると言われました。機械はフル稼働しています。部品は小さいゴムリングですが大変重要な部品です。結局コストアップになりますがバルブ本体を他メーカーに交換して解決致しました。以外とこのような事が身近であるのでは！

今年の夏の暑さは異常です。

一般的に油の温度は50℃位が限度かと思えます。これ以上あがるとシリンダーのパッキンに悪影響を与え熱によるパッキンの硬化が進み油漏れの原因となります。一度チェックし油温が上がっている場合は対策をしておくのが良いと思えます。

油圧パワー



**『小型油圧装置から 1.000ton の油圧プレスまで。油圧専門で30年。
3.000 件以上の油圧装置製造、メンテナンスの実績でお役に立ちます。』**

ニューズレター購読ご希望の方は、

下記必要事項を入力上、FAX 又は、メールにて送信して下さい。購読は無料です。

会社名 _____

TEL _____

FAX _____